

福幸きらり商店街跡地利活用事業基本構想策定 第2回検討委員会資料

株式会社船井総合研究所

2021年2月12日

第2回 検討委員会の次第

1. 開会

2. 当事業 基本構想策定 事業者紹介

3. 内容

(1) 事業スケジュール詳細

(2) アンケート結果分析・事例紹介

(3) 子供向け施策・郷土芸能施策 発表・質疑

① おおつち遊び場プロジェクト

② 大槌町郷土芸能団体連合会

(4) 意見交換会

4. 閉会

2. 当事業 基本構想策定 事業者紹介

① 株式会社 船井総合研究所 会社概要

- 本業務のアドバイザーとして株式会社 船井総合研究所が選定されました。



■会社概要

株式会社 船井総合研究所は東京都千代田区に東京本社を置く経営コンサルティング会社である。コンサルティングファームとして世界で初めて上場を果たした（現在は親会社の船井総研ホールディングスが東証一部・大証一部上場）ことでも知られる。中小企業を主要顧客としたマーケティングを活用しながら、地方自治体向けのコンサルティングも展開している。

「お客様の業績を向上させること」を最重要テーマとし、現場の活性化支援に強みを持ち、独自の経営理論（フナイ理論）に基づくコンサルティングを行っている。また、社会的価値の高い「グレートカンパニー」を多く創造することをミッションとし、企業の本質的な「あり方」にも深く関与した支援を実施している。その現場に密着した実践的コンサルティング活動は様々な業種・業界から高い評価を得ており、800人を超えるスペシャリストが累計4万社以上へのサポートにあたっている。

| | |
|-----------|-------------------------|
| ①会社・法人等名称 | 株式会社 船井総合研究所 |
| ②所在地 | 東京都千代田区丸の内 |
| ③代表者名 | 眞貝 大介 |
| ④設立年月日 | 1970年3月6日 |
| ⑤資本金 | 3,000,000千円 |
| ⑥売上高 | 16,034,170千円 (2019年12月) |
| ⑦従業員数 | 846名 (2020年6月) |
| ⑧事業内容 | 経営コンサルティング事業等 |



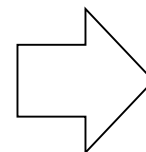
東京丸の内



大阪本社ビル

⑨サポート拠点

【東京本社】東京都千代田区丸の内1-6-6日本生命丸の内ビル21F
【大阪本社】大阪府大阪市中央区北浜4-4-10 大阪本社ビル
【五反田オフィス】東京都品川区西五反田6-12-1



地方創生の専門部署が
担当します

調査分析

マーケティング調査、外部環境分析(5フォース分析、PEST分析、市場動向調査)、内部環境分析(財務分析、売上分析、PEST分析、3C分析、4P分析、覆面調査、SWOT分析、STP分析、ヒアリング分析、顧客満足度調査ほか)

コンサルティング提案

営業力強化提案、販促力強化提案、商品力提案、各種営業ツール類提案、管理帳票類提案、サービス力強化提案、チラシ、DM、広告提案ほか

各種委員会コーディネーター、研修、講演、セミナー ほか

3. 内容 (1) 事業スケジュール詳細版 ① 跡地検討の経緯

- これまでの岩手県大槌町の復興において大きな役割を果たした、福幸きり商店街は地域の新たな拠点としての役割を期待されています。



- ① 大槌IC付近は町の計画で**文教拠点**として位置づけられている
- ② 跡地周辺には商業施設も隣接しており、**地域の方々の商業拠点**である
- ③ 大槌IC開設 = 県内外のアクセス拠点化により、**交流人口の増大**が期待できる

i. 商店街設置の経緯

平成23年12月

福幸きり商店街は、東日本大震災で被災した大槌町の商業を再生する目的で大槌北小学校跡地に仮設商店街として40区画整備された。これまで復興拠点として地域の方々が利用し、地域に多大なる貢献をしてきた。

平成29年

町方地区等の区画整理事業業地の引き渡しが始まったことから、各店舗の本設移転が徐々に開始された。

令和元年

商店街の跡地利用に関して本格的な検討を開始。
経済性を重視した「道の駅の可能性診断」を実施。

令和2年3月

全ての商店の移転または撤収が完了
11月
第1回「福幸きり商店街跡地利活用事業検討委員会」開催

3. 内容 (1) 事業スケジュール詳細版 ②跡地検討のポイント

- 福幸きりり商店街跡地の利活用については以下の2つの視点を重視した検討が必要となります。

福幸きりり商店街跡地検討 のポイント

福幸きりり商店街跡地においては、「経済性・収益性」と「社会性・文化性」の両観点から、方向性を検討する必要があります。

1つ目の「経済性・収益性」については、地域の産業振興に加え、施設の運営原資とする観点から重要な視点となります。

2つ目の「社会性・文化性」については、地域社会の発展の観点から公共的な役割を果たすことが期待されるため、地域課題を解決するような機能の検討が必要となります。

ポイント1 経済性・収益性を持つ機能

- 物販機能（直売、一般物販）
- 飲食機能（飲食、カフェ）
- 観光機能（体験、見学）
- 開発機能（商品開発）
- サービス提供機能（体験）

両立



ポイント2 社会性・文化性を持つ機能

- 子ども子育て機能
- スポーツ振興機能
- 地域コミュニティ創出機能
- 福祉機能
- 文化・芸能振興機能

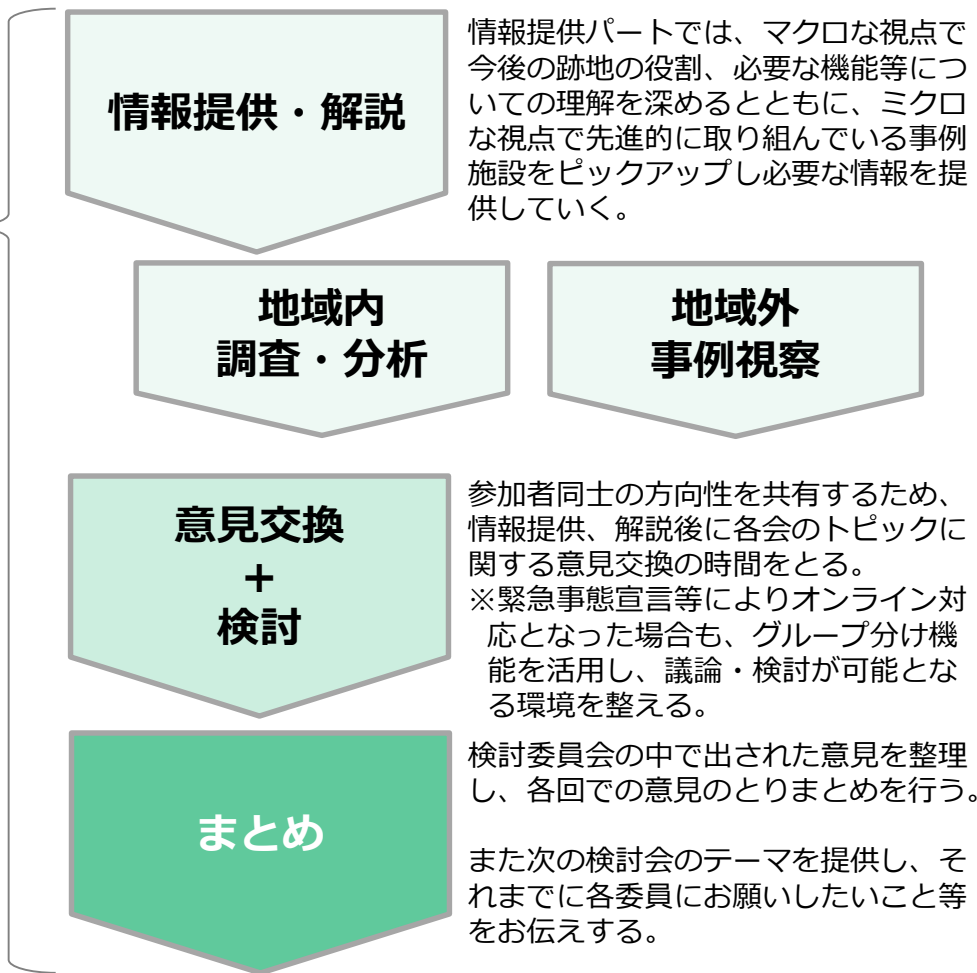
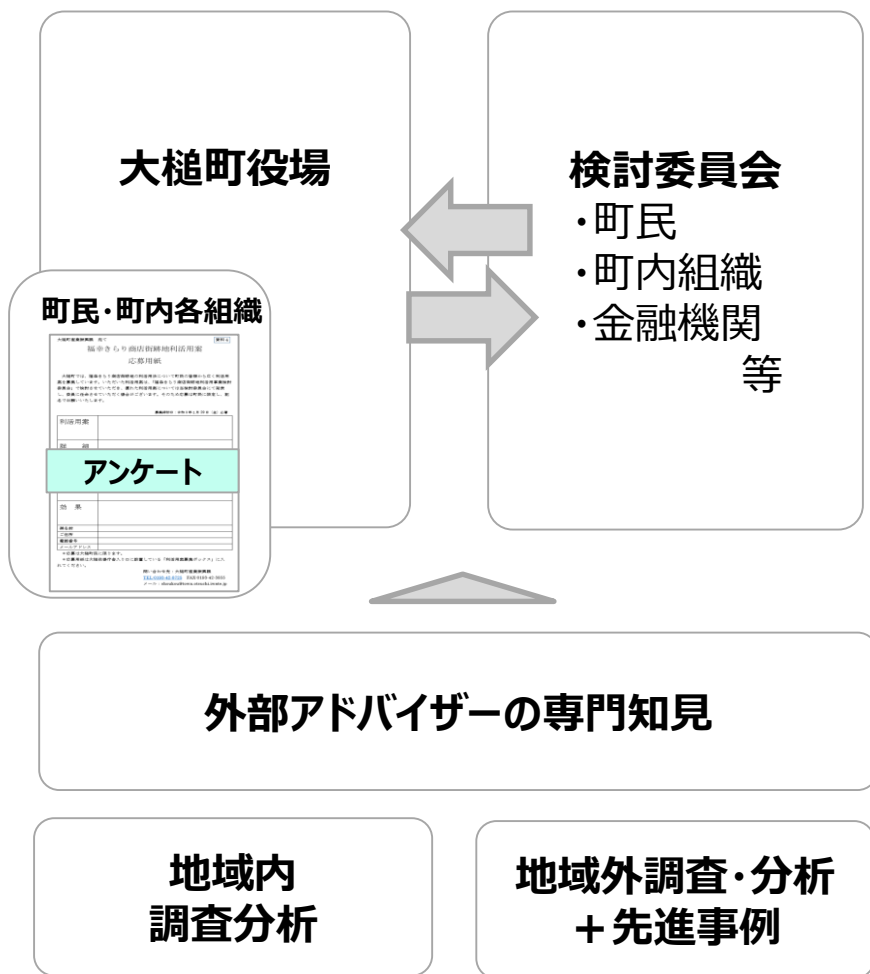
3. 内容 (1) 事業スケジュール詳細版 ③検討委員会の視点



- 検討委員会では大槌町役場と外部アドバイザーが検討委員会をサポートします。
- 検討委員会では、情報として地域内の情報の調査・分析結果、及び 地域外の先進事例の視察を行います。

■検討委員会スキーム

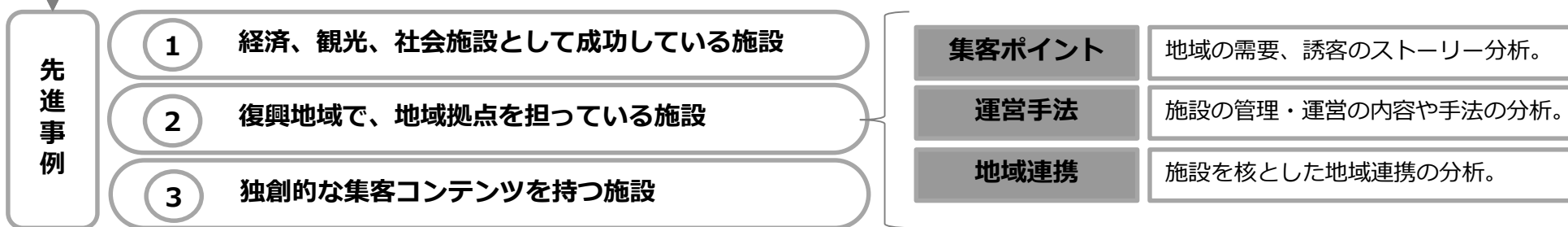
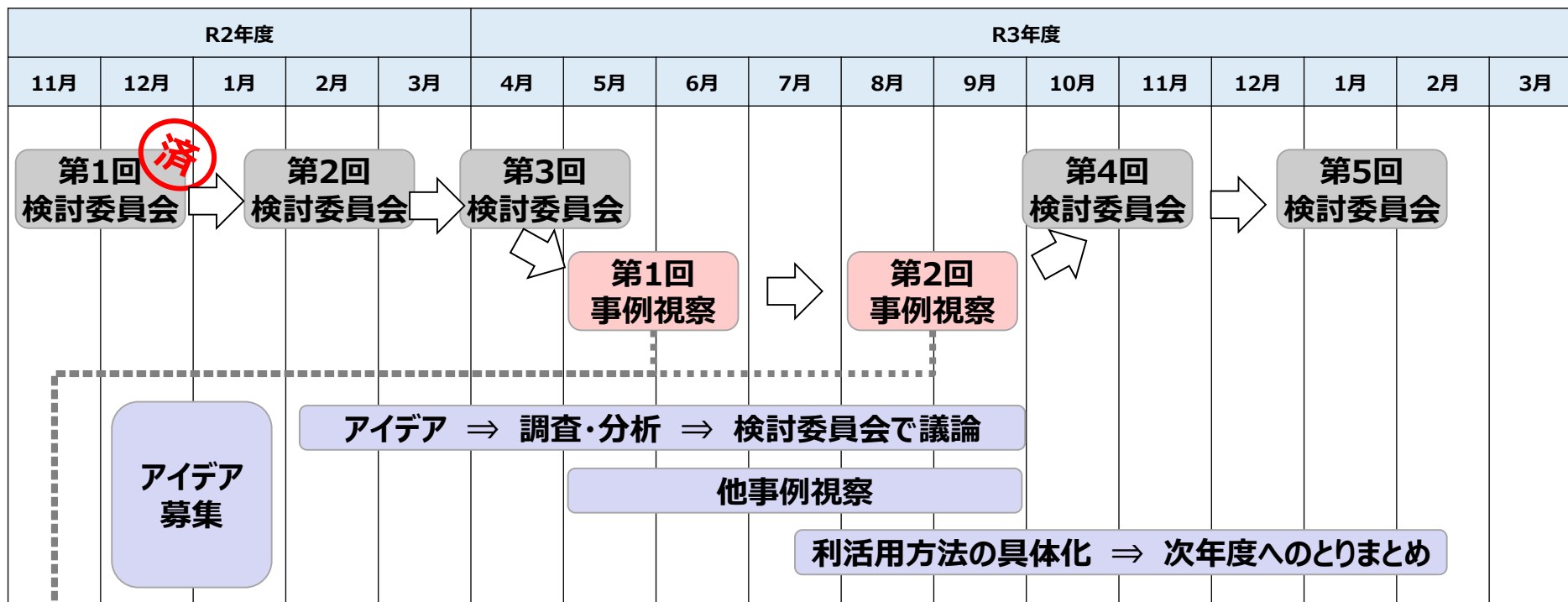
■検討委員会の検討フロー



3. 内容 (1) 事業スケジュール詳細版 ④ 検討委員会スケジュール

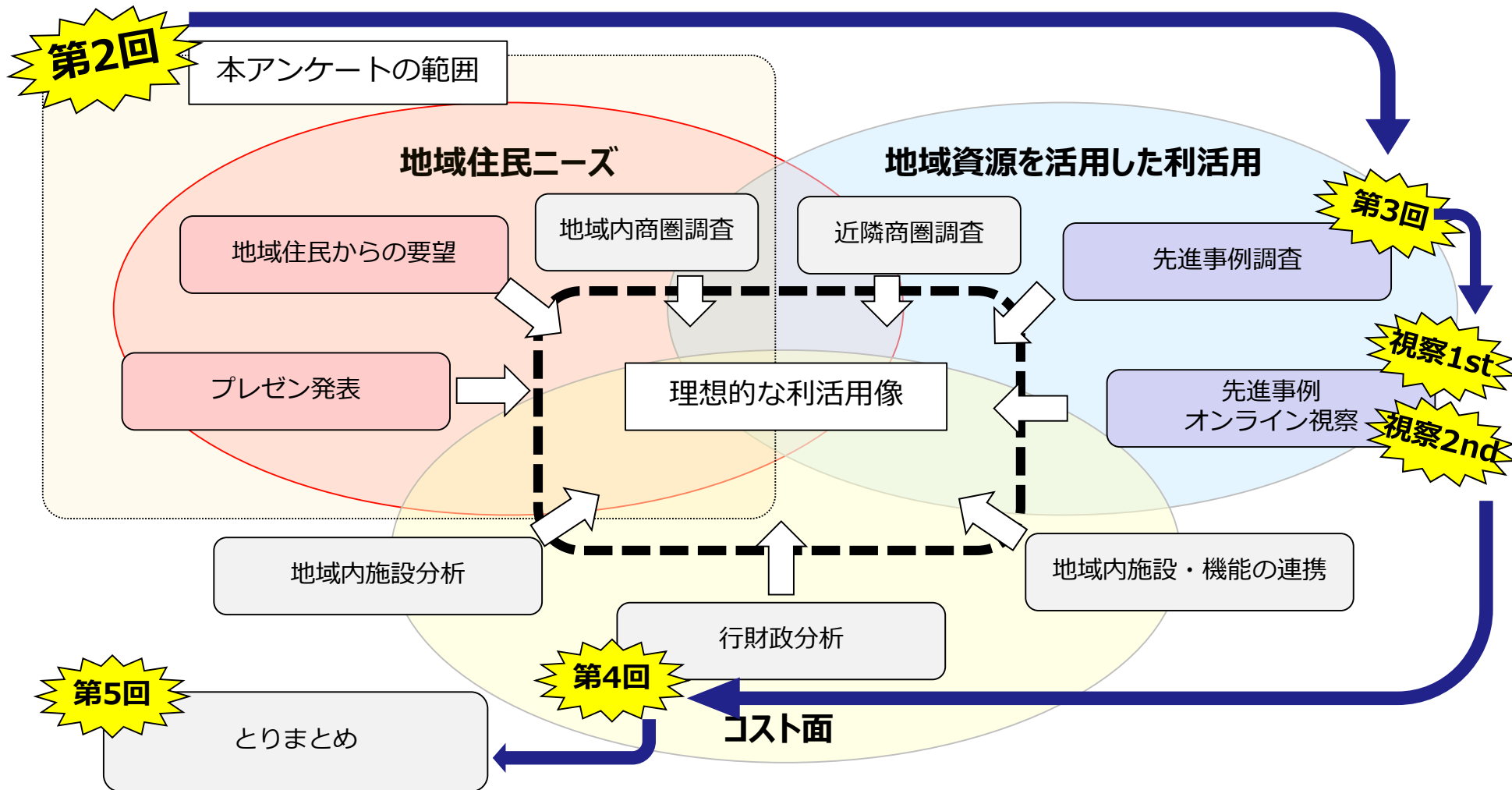


- 検討委員会は、合計5回行われます。
- また検討委員会に資する情報にしっかりと触れる目的で地域外の先進事例視察を2回開催します（オンラインを想定）。



3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ①アンケートの位置づけ

- 今後の利活用策を検討するにあたっては、下記の3つの視点が必要となります。
- 第2回目の検討委員会では、アンケート結果分析を中心に地域の方々のニーズから利活用策を整理しています。
- 今後の検討委員会では、地域資源を活用した利活用策がないかを考えていくとともに、利活用策として継続・維持していくためには、どれくらいのコストがかかるのかについても3回の検討委員会、さらに2回の視察を踏まえ考えていきます。



3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ②アンケート概要



- 大槌町の福幸きり商店街跡地の利活用のアンケートは12月初旬から1月下旬にかけて実施され、合計141件を回収しました。

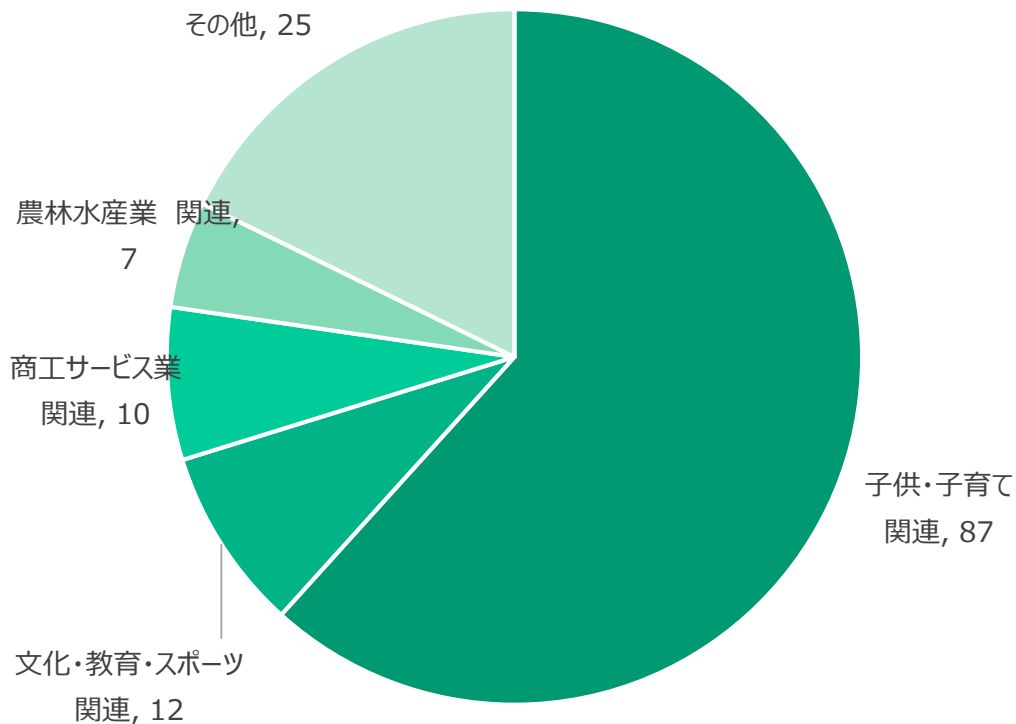
| | |
|----------------|---|
| 調査目的 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 大槌町の福幸きり商店街跡地の利活用について、広く町民から意見を伺い、ニーズの高い機能を把握する。 |
| 調査手法 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 役場、おしゃちでのアンケートボックス設置と回収 ■ インターネットアンケートを活用した回収 ■ メール・ファックスでの回収 |
| 調査期間 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 調査票配布・回収 : 12月10日～1月29日 ■ 集計・分析 : 2月1日～2月10日 |
| 回答いただいた方の主な所属先 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 子供・子育て施設関連 ■ 金融関連 ■ 行政関連 ■ 商工・産業団体関連 ■ 農林水産業関連 <p>※回収 全141件</p> |
| アンケート項目 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 回答者の所属（主な所属先） ■ 利活用案 ■ 運営方法 |
| 調査体制 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 大槌町役場にて、配布・回収。 ■ 集計、分析は株式会社 船井総合研究所にて実施。 |

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果 提出先団体



- アンケート回答者の回答先団体別で集計をしたところ、子供・子育て関連からの回答が全体の約7割と最も多い結果となりました。
- その他、地域で活動する文化関連、商工サービス業関連、農林水産業関連からの回答もバランスよくご回答頂きました。

回答者の主な提出先 (母数：141 単一回答)



■回答者の主な提出先団体

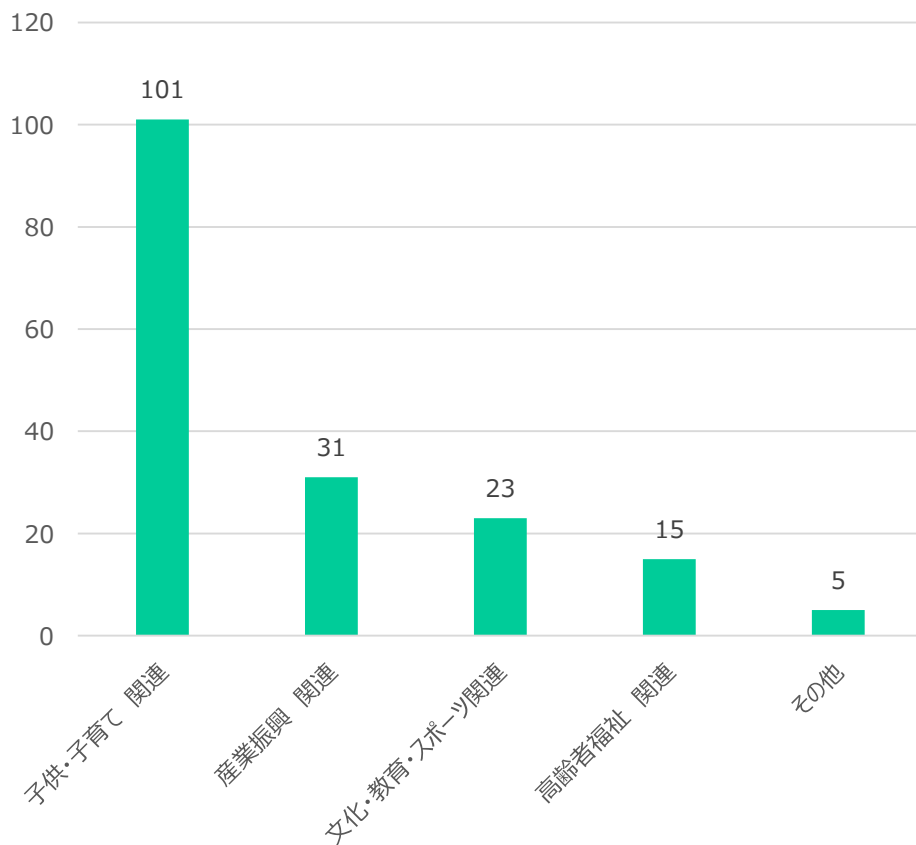
| No | 項目 | 実数 | 構成比 |
|----|--------------|-----|--------|
| 1 | 子供・子育て 関連 | 87 | 61.7% |
| 2 | 文化・教育・スポーツ関連 | 12 | 8.5% |
| 3 | 商工サービス業 関連 | 10 | 7.1% |
| 4 | 農林水産業 関連 | 7 | 5.0% |
| 5 | その他 | 25 | 17.7% |
| 合計 | | 141 | 100.0% |

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果 大分類



- 利活用案を大きく5つに分類をしたところ、多くの提案がいくつかのカテゴリにまたがる複合提案となっていること分かりました。
- 中でも、「子供・子育て」をテーマにした利活用案の提案が全体の60%近くを占めています。
- また、続いて「産業振興関連」が17.7%、「文化・教育・スポーツ関連」が13.1%、「高齢者福祉関連」が8.6%と続いています。

利活用案のカテゴリ (母数175 複数回答)



| No | 項目 | 実数 | 構成比 |
|----|--------------|-----|--------|
| 1 | 子供・子育て 関連 | 101 | 57.7% |
| 2 | 産業振興 関連 | 31 | 17.7% |
| 3 | 文化・教育・スポーツ関連 | 23 | 13.1% |
| 4 | 高齢者福祉 関連 | 15 | 8.6% |
| 5 | その他 | 5 | 2.9% |
| 合計 | | 175 | 100.0% |

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果 大分類



- 利活用提案においては、公園利用から商業施設、運動施設、文化芸能施設まで多種多様な提案が寄せられた。
- またいずれの提案においてもいくつかの機能を併せ持つ複合型の施設となっている、という特徴がみられた。

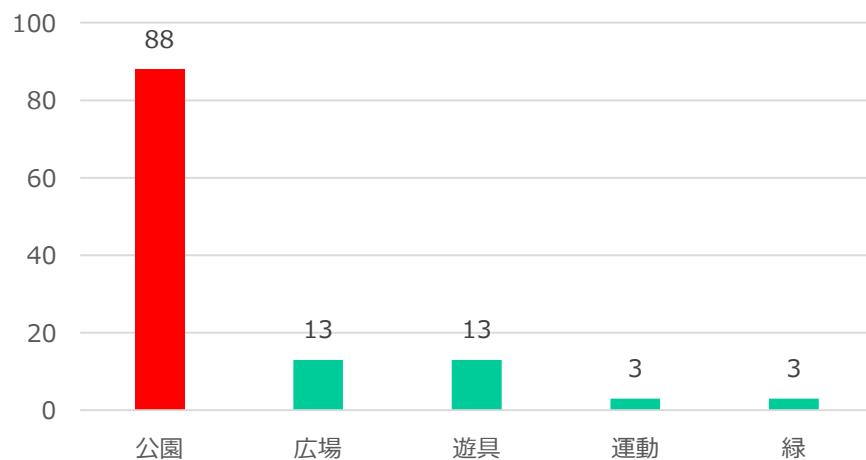
- 子供公園・合宿施設
- アウトレット大槌
- 宅地分譲
- みんなの駐車場(仮)
- 温水プール
- 屋外施設(BBQ、釣り堀、アスレチック)
- 動物ふれあいランド
- まんが図書館
- ショッピングモール
(色々な店が集まった所)
- ITベンチャーサテライトオフィス
- ボルダリング施設の建設
- おおつち桜の名所
- 郷土芸能伝承会館
- 国の機関の誘致・教育機関の誘致・公園
- ファミリーレストラン
- 職業体験パーク。キッズニアみたいな！
- 町民プール(室内)
- 企業誘致用地
- 放置
- 屋内外複合型スポーツ施設
- フットサルコート
- ボルダリング場
- 室内プール、映画館、スケート場、
ゴルフ練習場
- 公園(バーベキュー場も兼ねる)
- 総合スポーツ場
- 音楽ホール

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果 子供・子育て

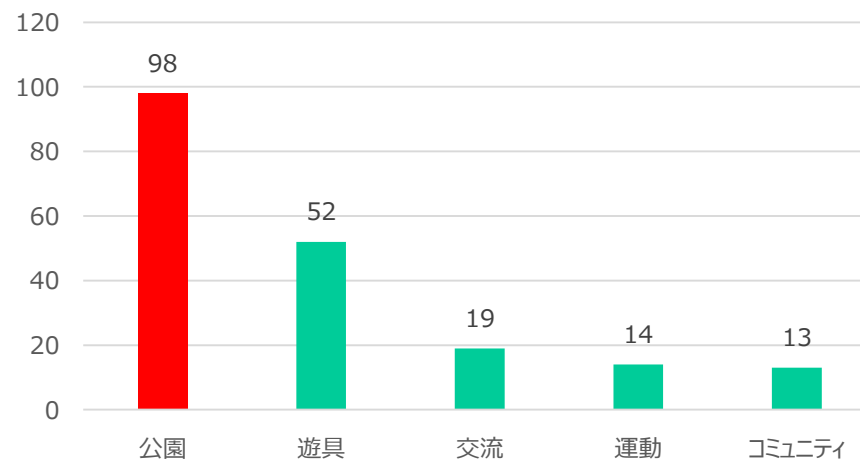


- 「子供・子育て」と利活用案では、屋内・屋外を含めた子供が遊べる場として「公園」を望む声が多くあがっています。
- この提案をした回答者の約8割が子供関連施設に提出された回答者であることも大きな要因と考えられます。
- また、利用は子供だけでなく、老若男女が集える「コミュニティの形成拠点」になることを期待する意見や、福祉・文化・地域資源を発信する拠点にしたいという意見があがっています。

施設タイトルキーワード分析 (母数120)



利活用詳細からのキーワード分析 (母数196)



| No | 項目 | 実数 | 構成比 |
|----|----|-----|--------|
| 1 | 公園 | 88 | 73.3% |
| 2 | 広場 | 13 | 10.8% |
| 3 | 遊具 | 13 | 10.8% |
| 4 | 運動 | 3 | 2.5% |
| 5 | 緑 | 3 | 2.5% |
| 合計 | | 120 | 100.0% |

| No | 項目 | 実数 | 構成比 |
|----|--------|-----|--------|
| 1 | 公園 | 98 | 50.0% |
| 2 | 遊具 | 52 | 26.5% |
| 3 | 交流 | 19 | 9.7% |
| 4 | 運動 | 14 | 7.1% |
| 5 | コミュニティ | 13 | 6.6% |
| 合計 | | 196 | 100.0% |

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果 子供・子育て



- いくつかの特徴的な提案から特にユニークな提案を取り上げます。
- いずれも子供たちを起点としながらも、地域コミュニティの形成（人々が集う事）を目指す提案となっています。

タイトル : 大槌公園(31)
対象 : 地域住民（子供＋高齢者）

【概要】

- ・ 子供達が楽しんで体を動かせる場(遊具)
- ・ 家族や友達と気軽に集まれる場
(ゲートボールなど運動ができる広場)
- ・ お年寄りや地域の方の交流
(花を植えたり、地区民運動会をしたり)
- ・ 震災整備で町内にあまり見られなくなった桜の木も植える。(植樹祭をする)

タイトル : 公園アスレチック的な
スペースカフェ(89)

対象 : 地域住民

【概要】

- ・ 大槌町には公園らしい場所がない。
- ・ 子供達が自由に走り回ったり寝転んだり、またお年寄りの方や大人が健康づくりが出来るようなスペースがあれば良い。
- ・ 近くにゆったりできるカフェ的な場所があれば休憩しながら過ごせるのかなと思いました。

タイトル : 欲張り・室内＋野外広場(109)
対象 : 地域住民（特に子供）＋観光客

【概要】

- カテゴリ1 : 地域コミュニティ(大槌町内の繋がり)
憩いの場、集いの場
- カテゴリ2 : 教育・文化・福祉(教育・文化の伝承)
文教地区としての役割
- カテゴリ3 : 観光・交流(大槌町外との繋がり)
音楽、芸能、芸術を通じた交流

タイトル : きらりパーク(116)
対象 : 地域住民（特に子供＋若年層）

【概要】

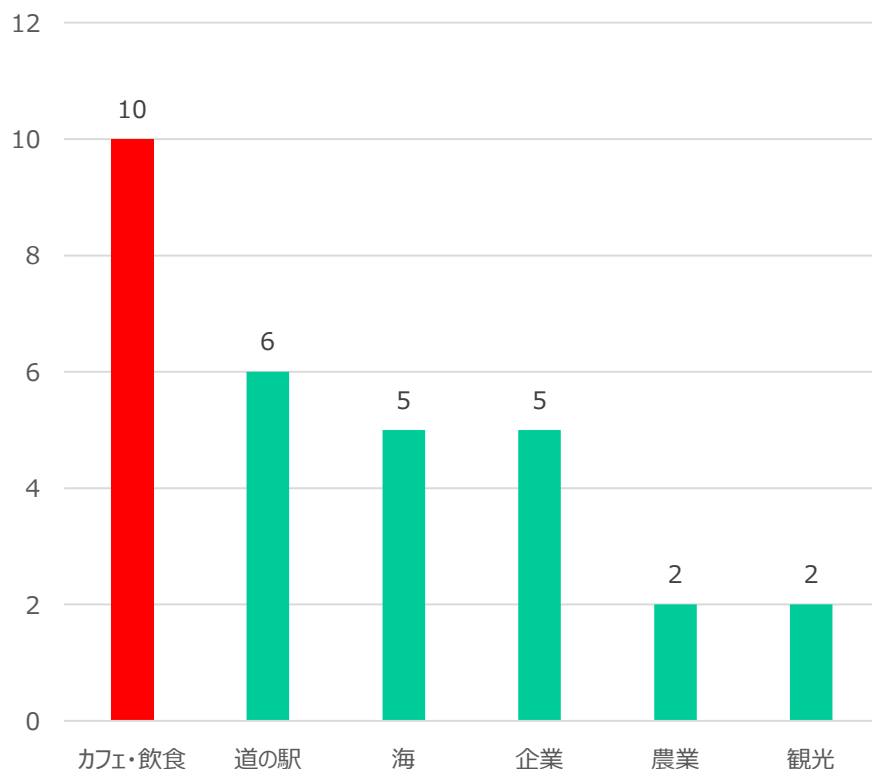
- 文教地区として、子どもが利用できる3つの事業を行う
- 1 朝食堂
地産地消、フードロスを活用した町民のための食堂
 - 2 公園
子どもの肥満防止とひなたぼっこのできるスペース
 - 3 ユースシェアハウス
若者向けシェアハウス

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果 産業振興



- 産業振興に関する利活用案については、商業機能としての「カフェ」・「飲食」、「道の駅・観光」を要望する声があがっています。
- 提案の中では、大槌町の海を活用した海洋関連の事業拠点としての提案や、「企業誘致」、リモートワークに対応した「オフィス」、「創業拠点」等の活用策が上がっています。

施設タイトルキーワード分析 (母数30)



| No | 項目 | 実数 | 構成比 |
|----|--------|----|--------|
| 1 | カフェ・飲食 | 10 | 33.3% |
| 2 | 道の駅 | 6 | 20.0% |
| 3 | 海 | 5 | 16.7% |
| 4 | 企業 | 5 | 16.7% |
| 5 | 農業 | 2 | 6.7% |
| 5 | 観光 | 2 | 6.7% |
| 合計 | | 30 | 100.0% |

【特徴的な意見】

- ショップ、カフェ、公園を一つの場所にする。
- 劇場、ステージ(出来ればゲームショップも)。
- 大槌のPR 特産品の販売、アウトレットモールなど。
- 今の所、子供の服を買える所なし、駄菓子屋、バッテリーセンター(大人も子供も出来る)、海の町なので海鮮丼など海の物の定食屋など子供も大人も集まれる場所。定食屋などは観光客にも喜ばれると思います。
- ITベンチャーサテライトオフィス
- 大手企業のバックアップオフィス サテライトオフィスの誘致
- 親子で楽しむ自然体験農園

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果 産業振興



- 産業振興関連は、商業施設系の提案に加えて、海のラーニングセンター等の独自固有の長所を生かした提案も見られました。
- 道の駅などの中に子育てや文化機能を格納する複合施設も想定されています。

タイトル : ショッピングモール(43)
対象 : 地域住民 (子供中心に全般)

【概要】

- ・ 今の所、子供の服を買える所がない。
- ・ 駄菓子屋、バッティングセンター(大人も子供も出来る)、海の町なので海鮮丼など海の物の定食屋など子供も大人も集まれる場所が欲しい。
- ・ 定食屋などは観光客にも喜ばれると思う。

タイトル : 海のラーニングセンター構想
(115)

対象 : 地域住民 (特に子供) + 観光客

【概要】

- ・ 大槌町は海とともに食文化、郷土芸能文化を作ってきた町であり、海の存在は町民になくてはならない存在である。
- ・ 大槌町は日本唯一の国際海洋研究機関という資源を有しており、他の自治体は簡単に真似することができない。
- ・ 伝統文化、食、体験学習、海洋研究、産業興しなど海を軸とした複合型施設としてきっちり商店街を活用する。

タイトル : 企業誘致用地(44、104、108)
対象 : 地域外企業、ITベンチャー等

【概要】

- ・ インターから降りてすぐという立地くらいしかメリットがなく、町の産業や雇用への貢献に使用すべきである。
- ・ 震災復興で縁のある企業等を足掛かりに、粘り強く誘致活動に取り組むこと。
- ・ 集客施設は町中の空き地またはその近辺に可能。
- ・ ただし、既存施設の有機的活用が先。

タイトル : 道の駅的施設(12、103、134)
対象 : 地域住民 + 観光客

【概要】

- ・ 道の駅に物販、飲食等の観光型収益施設を備える。
- ・ 文教地区として高い利用度が見込まれる屋内型子供施設や、ヨガ教室等が開催できるスクール型ルームを併設する。
- ・ esports 専用ルーム等のニーズがあると思われる。

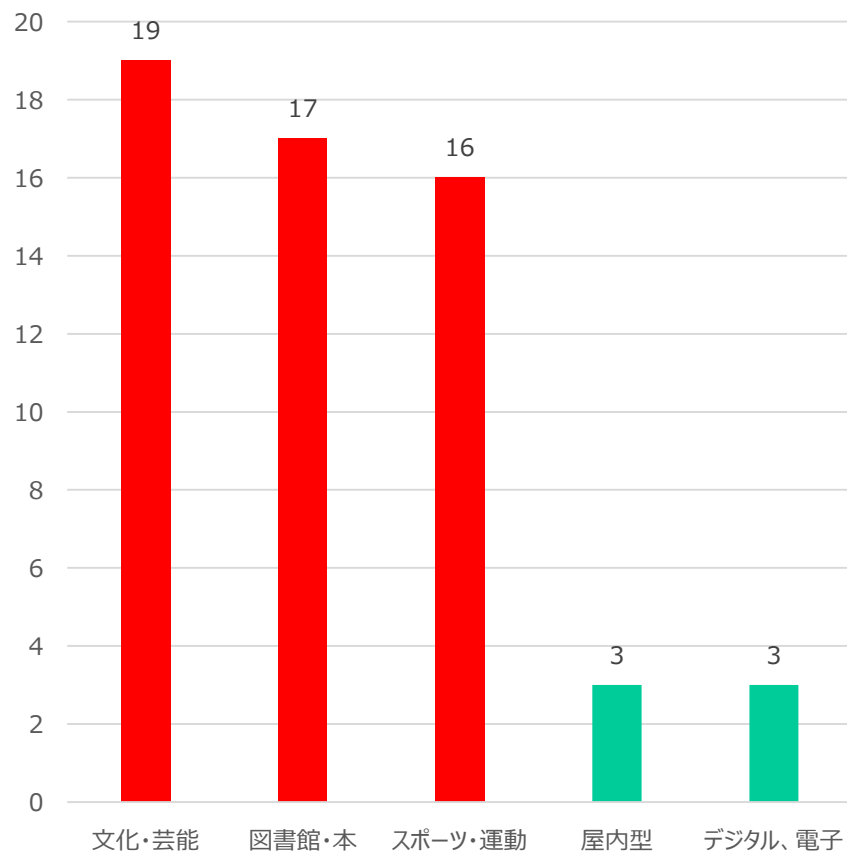
3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果

文化・教育・スポーツ



- 文化・教育・スポーツに関する利活用案については、「文化・芸能」、「図書館・本」、「スポーツ・運動」を要望する声があがっています。
- 提案はいずれも複合提案となっており、文化、教育、スポーツに加えて、前掲の子供・子育て、産業振興を組み合わせた提案が多く見られました。

施設タイトルキーワード分析 (母数58)



| No | 項目 | 実数 | 構成比 |
|----|---------|----|--------|
| 1 | 文化・芸能 | 19 | 32.8% |
| 2 | 図書館・本 | 17 | 29.3% |
| 3 | スポーツ・運動 | 16 | 27.6% |
| 4 | 屋内型 | 3 | 5.2% |
| 5 | デジタル、電子 | 3 | 5.2% |
| 合計 | | 58 | 100.0% |

【特徴的な意見】

- 図書館、まんが図書館、
- 盛岡にあるTSUTAYAのようなイメージで本屋DVD店が入っており、図書館のようにゆっくり本を読める複合施設イメージ。
- 屋外アスレチック+自転車広場
- ドッグラン+動物病院
- フットサル専用のコートを2面ほど作る。
- ボルダリング、オリンピックの種目に選ばれ、最近注目されており、家族でも楽しめる施設を作る。
- 町民のため、老人のリハビリ、歩く、体を動かす。冬場での運動の為のプール。
- 伝統芸能の伝承会館

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果

文化・教育・スポーツ



- 文化・教育・スポーツ関連の具体提案においては、ボルダリングなど近隣地域にはない独自コンテンツの施設提案があがっています。
- また図書館や伝統芸能の伝承機能を併設する要望も上がっています。

タイトル : ボルダリング(45、112)

対象 : 地域住民 + 愛好家

【概要】

- ・大槌町には運動が出来る施設が少なく、運動できる競技種目が限られている。
- ・大人も健康で生き生きとした生活を実現するために体を鍛える事ができる。
- ・ボルダリングはサッカーグラウンドのような広い面積を必要とせず、跡地の面積で屋内及び屋外の施設が建設可能
- ・子供から大人まで楽しめる競技である。

タイトル : フットサル・プール (39、111) (10、99、113)

対象 : 地域住民 (特に子供)

【概要】

- ・フットサル専用のコートを2面ほど作り、沿岸のサッカーを楽しむ方が集める。
- ・住民及び近隣住民・指定管理者での運営し、町民の健康増進のためのプールを整備する。
- ・近くにプールがないため。年中利用できる方が良い。乳児も利用できる浅い物～高学年・高齢者等も運動可能にしたい。

タイトル : 大槌町郷土芸能伝承館 (117、139、141)

対象 : 地域住民 + 観光客

【概要】

- ・郷土芸能を「町の顔」として、観光物産協会等と連携。
- ・祭りだけでなく、稽古の公開、定期的公演を行い、内外から来訪者が集まる大槌らしさの発信場所とする。
- ・来訪者に歴史遺物や伝統ある郷土芸能を体感してもらい大槌への理解を深める。

タイトル : 大槌図書館 (42、114)

対象 : 地域住民 (特に子供)

【概要】

- ・盛岡にあるTSUTAYAのようなイメージで本屋DVD店が入っており、図書館のようにゆっくり本を読む複合施設イメージ。
- ・図書館のような場合であればお互いの会話は無くとも顔を合わせることが出来る。
- ・ディスタンスを保ちつつ交流できる。
- ・漫画図書館なども面白いと思う。

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果

高齢者福祉



- アンケートでは高齢者福祉を充実させる提案も見られましたが、いずれも他の機能との複合提案の形をとっています。
- 多くの要望では、子供・子育てや産業振興とセットで、子供＋高齢者が集える場の創出を目的する提案が多く見られました。

タイトル : 大槌よったんせカフェ(33)

対象 : 地域住民 (高齢者中心)

【概要】

- ・介護予防、健康のため散歩をしている高齢者が多いので、散歩や買い物の途中ほっと一息水分補給も出来る、気軽に寄れるカフェ。
- ・老人クラブ等、元気な高齢者(雇用を生み出す)×商店で運営する。
- ・飲み物値段は一律300～500円カフェの特別メニュー。
- ・介護予防教室や認知症カフェなども開催

タイトル : みんなに会える公園 (58)

対象 : 地域住民 (特に子供＋高齢者)

【概要】

- ・子供から老人までが使用できる公園などがあればいい。
- ・散歩などはできているが自由に体を使って遊べる場所がないと思う。
- ・あの広さを使って子供から老人が体を動かせる場所があってもいいと思う。

タイトル : ひよっこり公園島 (69)

対象 : 地域住民 (特に子供＋高齢者)

【概要】

- ・ひよっこりひょうたん島をモチーフにした公園(ひょうたん島の形をした砂場など)。
- ・小さい子供から老人まで体を動かせる大きな公園が欲しいです。
- ・今は公園で遊ばせるだけで他の市、町まで行かなければならず逆に大槌に大きい公園があれば他の市や町から子連れの家族が来ると思います。

タイトル : ひとときば (138)

対象 : 地域住民 (特に子供＋高齢者)

【概要】

- ・きらり商店街の跡地は私にとって思い出のある場所。
- ・多くの人にとって思い出深い場所であるからこそ、「老若男女多様な人たちに利用してもらいたい」ので「公園」を提案したい。
- ・外に出て友達と体を動かし、肥満・運動不足解消。
- ・さらに高齢者向け健康遊器具(アスロビットVや足つぼ)などもそろえて、集える場とする。

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果 その他



- 分析上他に該当しないものの特徴的な提案としては、用地の委託・売却等により民間提案を受ける（その結果としての宅地造成）などの提案や、あえて現段階では跡地活用は行わず今後改めて検討する提案、などが挙がっています。

タイトル : 住宅・定住対策(7、102) 対象 : 地域外住民（若年層中心）

【概要】

- ・大槌町及び各地方では、人口流失、出産の減少等地域の人口減少、高齢化、過疎が進みつつあります。
- ・いかに今後の大槌町を担う若者の定住、及び安心した子育てができる環境づくりが急務と思う
- ・きらり商店街の跡地を民間不動産に委託又は売却により宅地造成を進める。（大槌町の管理より民間活用がベスト）売却資金を活用した助成制度を作る。

タイトル : なにもしない（8、20、115） 対象 : 地域住民（特に子供＋高齢者）

【概要】

- ・大槌町は、新しいまちの姿がやっと見えてきた段階であり、大槌町が今後どのように発展するかは誰にも分からない。
- ・しばらく放っておいて、特にニーズが上がってこなければ、防災の拠点としてとっておくか、高く使ってくれる民間に貸し出す事もできるのでは？
- ・無理に「今」何かを実施する必要はないと思います。当面はスクールバスの乗降所などが好ましい

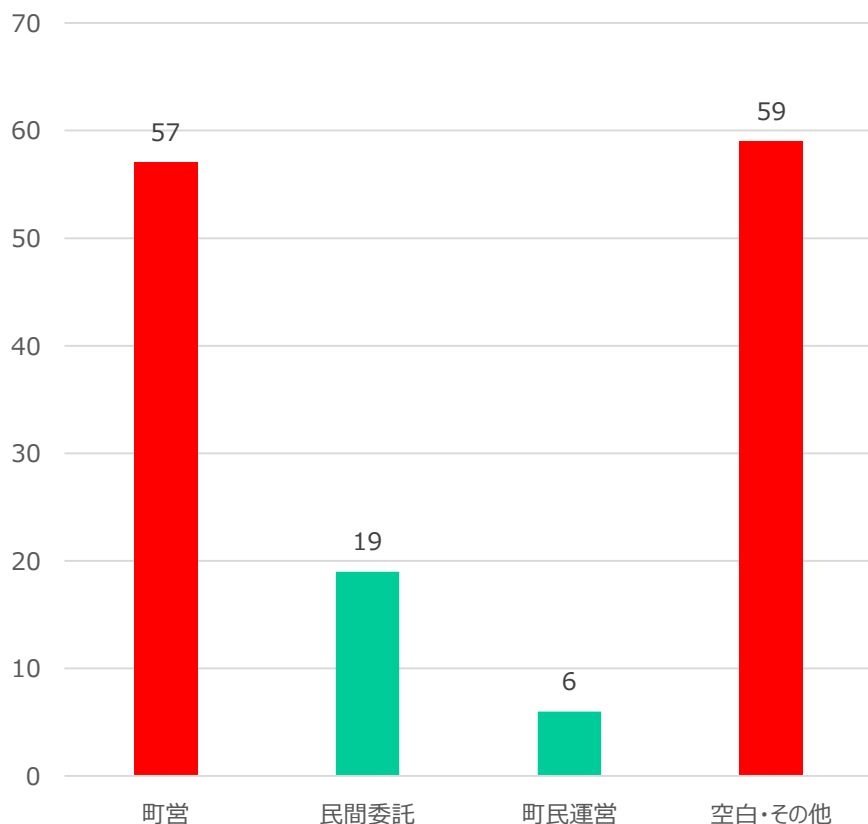
3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果

運営面



- 運営面においては、現段階では公園利用を意識した町による運営が多いものの、複合型の場合は、町営、民間委託、町民運営に分かれています。
- 一方で、分からない、もしくは空白の回答の割合が41.8%と最も多いため、運営については今後の検討委員会にて検討する必要があります。

運営キーワード分析 (母数141)



| No | 項目 | 実数 | 構成比 |
|----|--------|-----|--------|
| 1 | 町営 | 57 | 40.4% |
| 2 | 民間委託 | 19 | 13.5% |
| 3 | 町民運営 | 6 | 4.3% |
| 4 | 空白・その他 | 59 | 41.8% |
| 合計 | | 141 | 100.0% |

【特徴的な意見】

- 町で管理
- 町、近くの町内会とか・定期的に交代とかしてもいいと思う。
- もちろん町民(仲良くやっぺし※大槌の未来を考えて)
- 役場に任せるのではなく企業に委託して管理してもらった方がいいのでは・・・
- 役場が主の責任の下、運営・管理する課があればいい。←町民の雇用にもつながるのでは・・・
- シルバー人材センター
- 役場の人。運営はちょっと分かりません。
- 町役場や公益団体等・・・よくわかりません。
- わかりません。

3. 内容 (2) アンケート結果分析・事例紹介 ③アンケート結果 総評



- アンケートの分析結果としては、跡地利活用に対する期待の大きさ、及び3つに集約される施設利活用イメージが明確になりました。
- 一方で、それらの複合構成比や運営については今後の事例研究、視察を踏まえて、深く検討する必要があることが分かりました。

ポイント1. 跡地利活用に対する期待は大きい

- ・合計で150近い要望が寄せられており、立地として有望な跡地の利活用に対する期待は大きい。
- ・要望は、子供・子育て関連を通じた回答が最も多いものの、産業関連、農林水産関連や一般の窓口への提出も多く、町民全体の関心事になっている点がうかがえる。
- ・ただし、要望については住民が持つ課題によって多様性があり、提案にばらつきがある。

ポイント2. 利活用提案の分類は3つ。キーワードは「にぎわい」。

- ・要望は大きく分けて、子供・子育て関係、産業関係、文化・教育・スポーツ関連の3つに分類される。
- ・最も多い要望が、子供・子育て関係であり、中でも突出して多いのが「公園」機能であるが多くの提案が3分類の複合型の提案となっている。
- ・一方で、公園を含む多くの提案内容に共通して要望されている機能には「地域内外の人が集える場」としての機能「にぎわい」であることが明確になった。
- ・今後はどのような複合が好ましいか、各地域の事例を参考に話を進めていく必要がある。

ポイント3. 運用については知見が少なく、検討委員会でのさらなる検討が必要である。

- ・運営方針については、要望に応じて回答が異なる傾向があるが、現段階では町営が最も多くなっている。
- ・一方、分からない、と回答した割合が41.8%と最も多かった点からも現段階の構想、及び知見では判断ができない状態であることが明らかになった。
- ・よって、今後は他の施設の事例なども踏まえて運営方針については細かい検討が必要となる。

第3回
事例研究

第1回
視察

第2回
視察

第4回
第5回
へ

子供向け・芸能振興 に向けた利活用施策発表

- ① おおつち遊び場プロジェクト
- ② 大槌町郷土芸能団体連合会

3. 内容 (4) 意見交換 ①本日のテーマ

【跡地利活用について考えてみよう】

本日のアンケート結果、事例、そして子供・子育て向け、芸能振興向け施策を
勘案し、今後の方向性について考えてみましょう。

まずは質問を、そして自分の意見をまとめてみましょう。

手順

- | | | | |
|---|-------|-------|---|
| ① | 質疑応答 | (10分) | 配布したシートに基づいて、今回の情報、発表に対する 疑問、質問、意見を整理してみましょう。 |
| ② | 方向性検討 | (10分) | 第2回 検討委員会の内容を踏まえて、跡地利活用について の自分の意見をまとめてみましょう。 ※注意 1. 質問はポジティブな言い方を心がけましょう 2. 相手の質問・アドバイスを素直に聞きましょう 3. 口論にならないようところがけましょう |

3. 内容 (4) 意見交換 ②意見交換メモシート

質問事項

第2回の検討委員会を
終えた所感

跡地利活用へ
期待すること

第3回 検討委員会次第 案

1. 開会

2. 内容

(1) 前回の振り返り

(2) 地域内調査・分析 結果

- ・子供・子育て側面（公園重視）
- ・産業振興側面
- ・文化・教育・スポーツ振興側面

(3) 事例紹介（5事例ほどを予定）

(4) 意見交換会

3. オンライン視察会についてのご説明

4. 閉会